

モニタリング項目 No. 19 調査シート記載例

2015年度(平成27年度)の取り組みを知床白書等から抽出し、「知床エコツアーリズム戦略9. 具体的方策」ごとに振り分け

エコツアーリズム戦略 9. 具体的方策	取組		
	新規/継続	内容	備考
(1) 利用コントロール 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。	新 継 1999- 継 2011- 継 2011-	スカイバスツアーの実施 カムイワッカ地区マイカー規制の実施 知床五湖利用調整地区制度の運用 硫黄山登山道路路特例使用	22日間 25日間 7カ月 間 96日間
(2) 守るべきルールの設定と指導 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。 また、それらのルールの指導が行われているか。	新 新 継 1984- 継 2009- 継 2012- 継 継 継	北海道知床世界自然遺産条例の制定 ヒグマ保護管理方針の点検と見直し作業 先端部地区利用の心得の点検 知床岬の利用規制に関する申し合わせの行政機関合同巡視 羅臼海域の利用適正化に向けた調査 ヒグマ保護管理方針に基づく安全対策の実施 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視	66日間 延べ2,426 人日
(3) 情報の発信 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	新 新 継 2012- 継 2013- 継 継 継 継	知床自然遺産登録10周年記念事業の実施 外国人旅行者向け情報発信の強化事業の実施 ヒグマ保護管理方針に基づく情報周知 ヒグマ餌やり禁止キャンペーンの実施 Web等を通じた普及啓発 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及(リーフレットの作成) 寄付金を活用したレクチャーの実施やパンフレット配布 ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み	
(4) ガイドの育成とガイド利用の推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	新 継/変 2008- 継 2010- 継 2014-	知床五湖の早朝利用の実施 厳冬期の知床五湖エコツアー事業による引率者の登録 知床五湖利用調整地区制度による登録引率者の新規養成(3名)・登録(30名) 赤岩地区昆布ツアー事業の実施	
(5) 文化的資産等の活用 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	新 継 2014-	「しれとこ森づくりの道 ホロベツルート」の開設 赤岩地区昆布ツアーの実施	
(5) 利益の還元 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。	継 2008- 継 2011- 継 2014- 継 2014- 継	厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 知床五湖利用調整地区における住民還元キャンペーン ウトロ海域環境保全協議会の取組 赤岩地区昆布ツアーの実施 知床世界自然遺産の保護管理と適正利用基金の運用	
(7) 施設整備 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	新 新 新	羅臼岳岩尾別登山道保全修復工事 知床自然センター改修事業 相泊地区治山工事	
(8) モニタリング 観光客の評価(満足度や感想など)やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	新 新 継 2010- 継 2013- 継 2014- 継 2014-	羅臼湖の植生モニタリング手法の検討 ヘリコプタークルージング騒音調査 知床半島先端部地区利用状況調査 知床国立公園の利用実態調査 羅臼海域の利用適正化に向けた調査 五湖冬季適正利用調査 知床沼植生モニタリング	

凡例

新：新規のとりくみ

継：継続的に実施されているとりくみ

変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取り組み